

## SST と合同チーム回診実施中！

今年度より NST 回診に SST から歯科口腔外科医師と歯科衛生士または言語聴覚士が回診チームに加わっています。通常の**栄養サポートチーム加算**に**歯科医師連携加算**が追加となっています。

患者さんの**口腔内状況**を的確に評価し、**栄養確保**のルート選択、**食形態**選択などのアドバイスをしていただき NST 回診における**栄養療法の提案強化**に繋がっています。

## NST 活動報告会 11月25日 実施報告

\*NST 活動状況報告 NST専従・管理栄養士 伊藤豊高

\*講演：『**糖尿病食事療法と糖質制限について**』

内分泌代謝内科 鈴木淳 先生

\*ミニレクチャー 『**筋肉は裏切らない！！**』

NSTチェアマン 岡田雅仁 先生



(内分泌代謝内科 鈴木 淳先生)

活動報告、講演を実施しました。演者の先生、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。今後もご興味頂ける栄養関連の講演を企画します、多数のご参加をお待ちしています。

## セレン欠乏症

参考：「アセレンド注 100 $\mu$ g 製品情報 低セレン血症をさせていただくために」

セレンとは・・・

生体内で合成することのできない必須微量元素の1つ

- ①グルタチオンペルオキシダーゼ
  - ②チオレドキシシン還元酵素、
  - ③ヨードチロニン脱ヨウ素化酵素
- などとして生体内で重要な役割を担う

低セレン血症の要因・・・

- ・長期静脈栄養のみ（1カ月以上）
- ・十分なセレンを含有していない経腸栄養のみ
- ・蛋白質制限や透析による蛋白質喪失と低栄養

セレン欠乏症が疑われる**長期の TPN**、  
**セレン含有の不十分な経管栄養剤**による

栄養管理の場合には**セレン血中濃度の測定**、NST へ御相談をご検討下さい！

### セレン欠乏症の診断基準

1. 下記の症状/検査所見のうち1項目以上を満たす
  - 1) 爪・皮膚 爪白色化・爪変形、皮膚炎、脱毛・毛髪の変色
  - 2) 心筋障害 心筋症、虚血性心疾患、不整脈、頻脈
  - 3) 筋症状 下肢の筋肉痛、筋力低下、歩行困難
  - 4) 血液症状 赤血球の大球性変化、大球性貧血
  - 5) 検査所見  $T_3$ 低値、AST・ALT上昇、CPK上昇
  - 6) 心電図変化 ST低下、T波陰転化

2. 上記症状の原因となる他の疾患が否定される

3. 血清セレン濃度

年齢	血清セレン濃度 ( $\mu$ g/dL)
0~5歳	$\leq 6.0$
6~14歳	$\leq 7.0$
15~18歳	$\leq 8.0$
19歳~	$\leq 10.0$

4. セレンを補充することにより症状が改善する

Definite (確定診断): 上記項目の1、2、3、4をすべて満たすもの。  
Probable: セレン補充前に1、2、3を満たすもの。セレン補充治療の適応となる。

NST運営委員会では栄養不良の早期発見、早期改善を目指しています。

NST 介入のご依頼をお待ちしています。

発行人

NST チェアマン：岡田 雅仁

編集

三浦 広美 小野田 素大  
佐藤 剛